

令和4年度

公益財団法人駒ヶ根市文化財団

事業計画及び予算書

(公財)駒ヶ根市文化財団

公益財団法人 駒ヶ根市文化財団

令和4年度 事業計画概要

公益財団法人駒ヶ根市文化財団は、駒ヶ根市との指定管理に関する協定に基づき、生涯学習・文化芸術の拠点施設である駒ヶ根総合文化センター及び天竜かっぱ広場の管理運営と地域交流センターホールの管理にあたります。

これまでに当財団が培った地域社会及び関係団体との信頼関係、更には専門的な知識や技術の集積と経験を活かし、関連施設全体のより一層の効率的・有機的な運営に努め、市民サービスの向上を図るとともに、更なる教育環境の充実と文化芸術の振興が図られるよう努めてまいります。

なお、本年度は市指定管理者として再指定され2年目となり、駒ヶ根総合文化センターの指定期間は令和7年度までの5年間、天竜かっぱ広場の指定期間は今年度までであります。

運営方針(サービスに関する基本的な考え方)

1 生涯学習・文化芸術の拠点施設としての総合文化センター

図書館、博物館、文化会館からなる総合文化センター全施設の融合を図るとともに、地域交流センターや市内の社会教育関係機関等との連携を図りながら、利用者の声を大切にし、真の市民の生涯学習・文化芸術の拠点となるよう、指定管理者として効果的・効率的な運営に努めてまいります。

令和4年度も当財団の強みの一つである複合施設のメリットを活かしながら、各館連携のもと、多様な学習機会を提供できるよう、各種事業に取り組み、隣接地に建設された「地域交流センター(赤穂公民館)」と、引き続き連携を図ってまいります。

なお、経年による施設・設備の老朽化が進んでいるため、業務に支障の生じないよう市教育委員会と連携して長期改修(リニューアル)計画を策定し、計画的に改修等を実施してまいります。

2 文化会館

* 芸術関係各分野の有識者・見識者からの提言や評議員の助言、利用者から寄せられた声を基に演目を選定し、優れた芸術鑑賞の機会をできるだけ廉価で市民に提供します。演目の選定にあたっては、地元鑑賞団体の鑑賞分野に重ならないよう、各団体と事前調整や協力を行います。

* 地元で文化活動を展開されている方や地元出身者による公演を企画し、著名人の鑑賞公演だけでなく地元のアーティストを応援する機会を設けます。また、地元の鑑賞団体の事業を共催実施する事により、地元の文化活動の更なる活性化を図ります。

* 地域交流センターホールは300席と使い勝手が良く小回りの利く小ホールのため、大ホールでは大きすぎる公演やロビーでの気軽な公演を含めて検討します。また、公民館との共催事業も計画し、学習的な要素が強い演目にも取り組みます。

- * 新型コロナウイルスの状況が見通せないため、計画どおり事業展開ができるか未知数ですが、県や市、全国公立文化施設協会が定める感染対策のガイドラインを順守し、利用者の協力を頂きながら引き続き感染対策に万全を期し、事業に取り組みます。

3 図書館

「第2次駒ヶ根市教育大綱」及び「第3次駒ヶ根市子ども読書活動推進計画」をもとに目標を掲げ、具体的な取り組みを行っていきます。

- * 「ブックスタート」事業等を通して乳幼児・児童の読書活動の支援を行います。
- * ヤングアダルト世代の読書離れ、高齢化社会におけるシニア世代の「生きがづくり」等の時代に即した課題を踏まえ図書館の更なる可能性を探ります。
- * 身障者・高齢者の方々なども、安心して使える図書館をめざし、サービス、施設の充実を図っていきます。
- * 利用者サービス(分かりやすい配架、レファレンス等)を充実させ地域から信頼される生涯学習の拠点施設をめざします。
- * 郷土資料、行政資料の積極的な収集と整理、竹村文庫、加島文庫の継続整備作業を進めます。
- * 今後、拡大されていくことが予想される書籍の電子化に向け、利用者にとって利便性の高い電子図書館についての研究を深めていきます。
- * 公共図書館と市内小中学校との連携を深め、サービスの向上を図るとともに、主体的・能動的な学びを支援していきます。
- * 利用者の声を反映した、開かれた図書館づくりを進めます。

4 博物館

- * 収蔵する約 126 千点の資料の適正保存と、その有効活用や教育普及事業への活用を検討します。また、資料収集を継続的に実施し、古文書等の貴重な資料が廃棄・処分されないように啓蒙活動を実施します。
- * 関係機関や市民文化団体等と連携し、講座や展示の充実を図り市民に郷土研究、学習の場を提供します。また、これらの活動を通じ、郷土の文化財や自然環境に対する理解、保存の意識の高めることに努めます。
- * 市内芸術家で構成される「駒展実行員会」と連絡・協調を高め、「駒展」をより充実させていく。また、同時開催の「ジュニア駒展」を充実させていくために、市内小中学校との連携をより深め、児童・生徒の芸術活動の推進を図りながら文化芸術の全年齢層への定着を目指します。
- * 郷土館・旧竹村家・民俗資料館の展示内容や今後の活用について、関係機関と検討を重ねていきます。
- * 人文・自然全般の調査研究活動をより充実させ、平成28年度に一新した専門研究員の活動を充実させるとともに、情報発信の手段として館報を発行する。

5 地域交流センター

- * 地域交流センターは、住民の相互交流並びに教育及び文化芸術の向上を図るために設置された施設です。施設の理念に基づき、管理運営を行います。
- * 施設の貸与については、赤穂公民館と調整しながら公益性の高い市民参加の行事等は優先的に受付するなど、市民が利用しやすい体制と親切な対応に努めます。

* 文化会館事業と連携し、自主事業の開催を計画します。

6 天竜かっぱ広場

おもしろかっぱ館の建設当時からの使命である、かっぱ伝説の伝承と地域づくりの中核施設としての役割を果たすよう具体策をもって取り組みます。

- * おもしろかっぱ館が所蔵する河童の諸作品や中村家の宝物を生かした、わかりやすく、魅力ある運営を行います。さらに、展示型から、体験型・発信提案型とし、おもしろかっぱ館のリピーターを創ります。また、他の教育機関や観光・産業施設、公民館やシルクミュージアム、地域づくり委員会とも連携して、入館者の増加を図ります。
- * 市民が郷土の文化や自然への理解を深め、家族の絆を強め、地域コミュニティの充実を図れるよう、ふれあい講座(ミニほっと講座を含む)、特別展、さらには地域が中心となったイベントを開催します。特に、ふるさとの未来を創る子どもたちの夢を実現し、心の原風景が持てるよう努めます。
- * 地域住民組織、竜東にある公民館、シルクミュージアム等や観光協会、市商工観光課、地域保健課、JOCA 等と連携して、健康と地域振興に貢献できるように取り組みます。竜東地区の玄関口にある立地の強みを活かした地域行事や体験型イベント及び観光案内に参画し、「地域の中での存在感」が示せるように努めます。

7 財団奨励賞

- * 平成 15 年度より、文化振興事業積立資産(旧財団基金)の運用益を基とする「財団奨励賞」の事業を実施しています。今年度も、駒ヶ根市における文化芸術の振興と文化的環境の充実を図るため、文化芸術に貢献し、実績のある個人・団体を顕彰します。
また、青少年の文化芸術振興を図るため「ジュニア駒展」について、駒展実行委員会と共に、継続実施してまいります。

8 その他

- * 市民の憩いの場であるすずらん公園「平和の森」は、こまかっぱ噴水施設が設置された事をふまえ、公園全体の景観整備を図りながら管理を行います。
- * 公園開園後 33 年を経過して樹木が巨木化してきており、近隣住民より苦情が寄せられていることをふまえ、計画的に支障木の伐採等含め、施設・設備の適切な管理・保全に努めます。

令和4年度 駒ヶ根市文化会館自主事業計画

2022/2/17現在

公演日	演目	事業費				事業収益				合計			
		出演料・負担・補助金	諸経費	広告宣伝費	合計	入場料金/席種	入場者	チケット収入	その他収入		受託収入【委託料】		
市民参加型	6月12日(日) 第35回 駒ヶ根郷土芸能まつり	負	200,000	0	0	200,000	自由	無料	600	0	0	200,000	200,000
	11月27日(日) 第62回 駒ヶ根市民音楽祭	負	200,000	0	0	200,000	自由	無料	600	0	0	200,000	200,000
	2月 劇団サムライナッツ公演(演劇)	負	200,000	0	0	200,000	自由	無料	1,000	0	0	200,000	200,000
	6月25日・26日 A-Stock Theater(演劇 令和3年度延期分)	負	200,000	0	0	200,000	自由	無料	1,000	0	0	200,000	200,000
教育型 育成型	4月～通年 ジュニア和楽器講座		0	0	0	0	参加費	5,000	20	0	0	0	0
	2月中下旬 ジュニア和楽器講座発表会		0	100,000	0	100,000	自由	無料	100	0	0	100,000	100,000
	7月1日(金) アンサンブル信州 in 宮田: 学生鑑賞教室		0	0	0	0	鑑賞	無料	700	0	0	0	0
	未定 信毎駒ヶ根文化講演会	負	550,000	50,000	0	600,000	自由	無料	900	0	20,000	580,000	600,000
地元文化団体共催	12月27日(火) 伊南子ども劇場(子ども・ファミリー)	負	200,000	0	0	200,000	自由	無料	500	0	0	200,000	200,000
	未定 駒ヶ根音楽文化協会(クラシック)	負	200,000	0	0	200,000	自由	無料	500	0	0	200,000	200,000
会員向け	5月～7月 文化会館友の会事業(観劇ツアー他)		0	800,000	0	800,000			20	0	400,000	400,000	800,000
	未定 地元応援事業(地元文化活動者の公演)	出	500,000	100,000	200,000	800,000	指定	2,000	1,500	300,000		500,000	800,000
	7月1日(金) アンサンブル信州 in 宮田 第19回定期演奏会		0	0	0	0	一般 高校生	3,000 2,000	600 100	0	0	0	0
鑑賞型	11月20日(日) 駒ヶ根高原音楽祭コンサート(テノール佐野成宏)	負	200,000	0	0	200,000	指定 自由	6,500 4,500	300 200	0	0	200,000	200,000
	2月～3月 駒ヶ根落語会	出	2,750,000	50,000	350,000	3,150,000	S A B	4,000 3,000 2,000	500 150 55	2,000,000 450,000 110,000	20,000	570,000	3,150,000
	調整中 ファミリー向け公演(演目未定)	出	1,950,000	100,000	150,000	2,200,000	一般 子ども	2,000 1,000	400 200	800,000 200,000	0	1,200,000	2,200,000
	調整中 フォアレーゼン(朗読劇)	出	3,700,000	100,000	250,000	4,050,000	指定	5,000	650	3,250,000	0	800,000	4,050,000
学生～一般	1月21日(土) 歌わせたい男たち(芝居)	出	4,300,000	300,000	250,000	4,850,000	指定	4,000	600	2,400,000	0	2,450,000	4,850,000
	調整中 秋川雅史コンサート(地元合唱団等共演)	出	2,300,000	100,000	200,000	2,600,000	指定	4,000	650	2,600,000	0	0	2,600,000
女性支援事業	共通経費			100,000	0	100,000					0	100,000	100,000
	合計	出	15,500,000	450,000	1,850,000	17,450,000						900,000	900,000
合計		出	15,500,000	2,250,000	1,850,000	21,550,000			11,845	12,110,000	440,000	9,000,000	21,550,000
		負	1,950,000	0	0	1,950,000						0	0
		補	0	0	0	0						0	0
		計	17,450,000	0	0	17,450,000						0	0

事業の特色

1. 地元出身者等との共催(佐野成宏氏企画のコンサート)
2. 市民参加型事業の開催(郷土芸能まつり、市民音楽祭・ジュニア和楽器隊)
3. 幅広い年代層への会館利用の促進
4. 地元鑑賞団体等との共催事業(伊南子ども劇場、駒ヶ根音楽文化協会・劇団サムライナッツ)
5. 地域の合唱団とのコラボレーション(秋川雅史コンサート)や地域を題材としたオリジナル朗読劇(フォアレーゼン)
6. 会員向け観劇バスツアーの企画

文化会館友の会(令和3年度会員 令和3年10月～令和4年9月)

会員数	131名(2月5日現在)
特典	主催事業チケット早期購入・割引購入・発売情報のお知らせ
観劇ツアー	3年度は中止(例年は歌舞伎座観劇ツアー)

市文化振興基金

元年度末残高	8,619,000
2年度末精算額	3,188,000
2年度利子積立	2,000
2年度末残高	11,809,000

令和4年度事業計画 駒ヶ根市立図書館 (本館、中沢・東伊那分館、学校図書館)

駒ヶ根市立図書館の重点目標

1 読書活動の推進 2 誰もが利用しやすい図書館づくり 3 地域の情報拠点としての図書館の創造

具体的な取り組み

1 読書活動の推進

○子ども読書習慣定着への支援

- ・6ヶ月児「ブックスタート ～はじめての本～」事業、2歳3ヶ月児「セカンドブック」事業、小学校新入学生「サードブック」事業を通して幼児児童への読書活動の支援を行う。
- ・「よみーくちゃん巡回」事業による読書機会の拡大を図る。
- ・乳幼児から小学生を対象とした「おはなし会」の開催の他、子ども向け各事業（紙芝居会、お楽しみ会、クリスマス会・「ねえこの本読んで」等）を実施し読書への興味を深める。

○幅広い年齢層の読書活動の推進

- ・ヤングアダルトに向けてのワークショップや各種講習会等を実施する。
- ・地域への出前事業「お出かけ図書館」を通して幅広い年代層の読書活動の推進。また、図書館体験ツアー、職場体験を通して図書館の良さを伝えるとともに読書活動の推進を行う。
- ・「どこでもブックセルフ」を実施し、読書機会を増やし、読書活動の推進を図る。

○家庭での読書活動の推進

- ・「家族読書の日（毎月第3水曜日／ノーマイデー）」を関係諸機関と連携して更に普及させる。
- ・「ありがとうBOOKS」活動を毎月実施する。

○読書活動推進計画の作成

- ・「第4次駒ヶ根市子ども読書活動推進計画」を令和5年度実施に向けて作成する。

2 誰もが利用しやすい図書館づくり

○図書館利用、資料利用のための支援の充実

- ・計画的な蔵書の充実、レファレンスに応えられる資料の購入・整備・提供を行う。
- ・職員間のレファレンス事例の共有を行うなど、レファレンスフォローアップ研修を実施する。
- ・司書、職員の研修への積極的な参加。市内司書会の充実を図る。
- ・「アクティブラーニング」支援のための「調べる学習コンクール」の継続実施を行う。
- ・将来の電子書籍サービスの導入に向けて、県立長野図書館と連携をしながら検討していく。

○障がい者等サービスの充実

- ・視覚障害者、文字の読みにくい高齢者等のための、サピエ利用の点字データおよび朗読音声データのダウンロードと貸し出しのサービスを行う。（宅配も可能）

○広報の充実

- ・図書館だより、ホームページ、報道機関等を活用した情報発信の充実を行う。

○地域、他図書館等との連携を深めて

- ・ネットワークでつながっていることや、同組織の職員であるという利点を生かして市内各学校図書館、分館との連携を深めながら市民の利便性をはかる。
- ・相互貸借事業など、地域の公立図書館との資料共有化を図り、市民の幅広い要求に応じていく。

○市民、利用者の意見を反映した図書館運営

- ・図書館利用者に対するアンケートや企画の後のアンケートを実施する。

○館内施設、設備の整備

- ・開館30数年を経た老朽設備、備品の順次更新を行う。
- ・学習スペースの充実を図るための机・椅子の増設を行う。

3 地域の情報拠点としての図書館の創造

○利用者の幅広い要望に応える情報拠点として

- ・講演会、講座、四季のおはなし会等の企画、開催を行う。
- ・読み聞かせボランティア研修会の実施。
- ・雑誌スポンサー事業により、幅広い年齢層が利用できる雑誌の充実を図る。

○地域の情報拠点として

- ・郷土資料や行政資料の積極的な収集と整理及び、当市の重点政策をふまえた関連資料の収集・提供・開示を行う。
- ・資料の順次データベース化を行い、将来への適性保存を図る。
- ・駒ヶ根市の特性を生かし、地元の山岳関係の資料を中心に充実を図っていく。

◇その他 新型コロナウイルス感染防止対策

- ・コロナ対応のためのマスク着用、手洗い、検温などのお願いを引き続き行う。
- ・警戒レベルに応じた対応を検討し、ホームページで示す。

令和4年度博物館事業計画

駒ヶ根市立博物館

1 展示事業

博物館主催での企画展示（年2回～3回）を実施し、文化芸術・また歴史及び自然文化財事業の啓蒙を図ること、さらに館収蔵品を随時展示公開する。また市民（団体・個人）と博物館の共催事業として、市民の皆さんの文化・芸術活動の発表の場と中高校生の文化芸術発表の場としても展示室・ロビーの活用を検討する。

・博物館主催による企画展の実施（令和4年度実施計画）

- ア ・特別展「日本現代工芸美術長野会展」5月29日～6月12日開催予定
 - ・第21回「駒展」・第7回「ジュニア駒展」11月12日～11月27日開催予定
- イ 博物館収蔵品展の開催
 - ・博物館で収蔵している美術品（絵画・掛け軸等）及び民俗資料展示を4・5月及び6月後半に開催する。
- ウ ・登戸研究所調査研究会による調査結果の展示6月25日～8月21日に開催予定

2 教育普及活動

- ア 博物館主催講座・研究会活動
 - ・「古文書初心者講座」「古文書中級者講座」「登戸研究所調査研究会世話人会」を継続実施しながら内容の充実を図る。
 - ・「登戸研究所調査研究会」については最終的には常設展を目指している。行政・市民・上伊那の登戸研究所疎開の地の教育委員会とも連絡調整しながら常設展示の方向の検討をする。
- イ 博物館専門研究員による教育普及活動
 - ・各種団体の研修への講師（専門研究員）の派遣や文化財案内など資料提供、講座の充実を図る。
- ウ 教育機関との連携
 - ・地元小中学校には、博物館収蔵品の紹介を行い、収蔵庫見学会などを積極的に実施し、自然、歴史、民俗への興味、関心を持たせ文化財保護への心の醸成を図る。

3 資料収集及び整理

- ア 専門研究員の充実、活動支援
 - ・専門研究員が調査、研究しやすいよう環境面、資金面からも出来るだけの支援を行う。
 - ・博物館報(第7集)の発行により、令和4年度の博物館活動、専門研究員の調査研究実績などの情報発信を行っていく。
 - ・地形地質、気象動植物等自然保護及び保全に対し、職員自ら行動し情報発信に心がける。
- イ 文化財保護
 - ・自然史、歴史的遺産、民俗(有形、無形の文化財を含む)の観点から、専門研究員と常に連携しながら、社会情勢との協調した状況把握に努める。
 - ・近年の自然災害、核家族化、家屋の増改築等によって古文書を含めた貴重な文書類の流出、紛失が問題視されている。貴重な文書の所有者の把握から保存と保管に配慮する。
- ウ 中央アルプス国定公園化後の状況把握、南アルプス山麓の鍾乳洞、鼠川及び南田島テフラ等、常に新たな発見に視野を広く持ち、調査研究課題として資料収集と整理に努め必要に応じ市民へ周知することに努める。
- エ 博物館収蔵品の整理、保管等の整理、整頓に心がけ必要性や有効活用の実施に着手する。
 - ・民俗資料館の整備と有効活用の具体化の検討を始める。
 - ・郷土館の自然資料室における剥製の劣化に伴い、展示内容の検討を行う。
 - ・ふるさとの丘あゆみ館の展示物入替の要望がある。(湿気が多いため展示物にカビが発生)
- オ 専門研究員と共同で、郷土資料のデジタルアーカイブ化、さらに国土地理院の地図データを活用し多種多様な文化財（地形地質・気象・植物・動物等）を3D化した地形図によって体感できる学習が出来るような仕組みの構築を検討し、実施につなげる為のきっかけの年とする。
※3D地図を活用し、デジタル化した自然・文化財資料を投影、講座等活用を目指す。

令和4年度 おもしろかっぱ館 事業計画

2022.2.4

I ねらいと活動の概要

1. おもしろかっぱ館の2つの使命（かっぱ伝説の伝承とふるさと創りの中核施設）を達成すべく「かっぱの妙薬づくり」とかっぱ広場の有効活用の運営に特化する
2. 市民が集い希望と仲間づくりをねらいとし、ふれあい講座とミニほっと講座を1本化。市民の宝物を世に出す特別展&ワークショップを積極的に開催する
3. 教育施設の枠にとどまらず、竜東地域の窓口としての立地を生かした地域振興に貢献できるよう取り組む

- ・天竜かっぱ広場等を拠点に、中沢・東伊那・下平の竜東全体の振興を図る
- ・活動の根底に心と身体の健康づくり & 未来を創る子どもの夢を実現・笑顔へ実現のため ※重点活動 6点

II ねらい実現に向けた主な事業計画

1に関わって

- (1) 3本柱による運営 ※1 8月特別展：河童の妙薬「加減湯」の秘密
 - ①河童の妙薬と中村家の宝物 ②全国コレクション ③自然（かっぱ広場や池・小川）
従来の展示型から体験・提案・発信型へ移行、市観光課・CEK・日報を活用した継続的で積極的な広報活動
- (2) 「かっぱの妙薬」づくり ①地元中学生との共同研究 ②妙薬関連講座の継続
③地元企業との連携 駒ヶ根市の魅力発信と名産品（お土産）
※2 地元小・中・高校生発案の薬膳カレーやカッパおやきなど「河童の妙薬」に関する製品化を実現したい できれば「こまかっぱの街；駒ヶ根市」全体で全国アピールした
- (3) 市民を招いてのイベント：おもしろかっぱ館の魅力と価値を「知り」「好き」になってもらう
※3 おもしろかっぱ館を拠点とした竜東振興；憩いの場としてのかっぱ広場

2に關 ikoinoba

- (1) ふれあい講座(ミニほっと講座も含む) 15講座(案)
おもしろかっぱ館ならではの内容；河童関係3、地域魅力発信4、地域を知る3
苔玉1、健康体操2、フラワーアレンジメント1、地元の名人ワークショップ1等
※参加者や市民の要望・意見を大事に取り上げる

3に関わって ～地域社会との連携～

- (1) 竜東地区の公民館・博物館と一体となった取り組み
- (2) ※4 地元が盛り上げる夏の集いへの支援 地元主体の集いに保小中高校生の参加
花火や天竜かっぱ祭の復活を願う声（大人から子どもへ）
- (3) ホタルとアヤメの里づくりの会との連携：※5「ホタルの里」隠れた名所づくり推進
かっぱの小川における平家蛸の名所づくり 「ホタルを観る会」継続実施
- (4) 中沢地域づくり委員会との連携：ふれ愛なかっぱ市、あいたかっぱ班主催の
地域づくり（音楽・展示・喫茶）に協力する
- (5) かっぱ広場の活用：各種イベントやスポーツ活動、フットパスの開催に協力する
- (6) 地域保健課・JOCAとの連携：健康ステーション活動、ポールウォーキング
開催に共催協力する ※6 健康維持増進による心身健全の日常化・看護大と連携
- (7) その他：地域振興に資する取り組みに協力する

4. その他

- ・運営委員会開催予定：4～5月、委員会ニュース年1回発行
- ・休館日の開館：団体のお客様に限り事前の申し込みにより開館